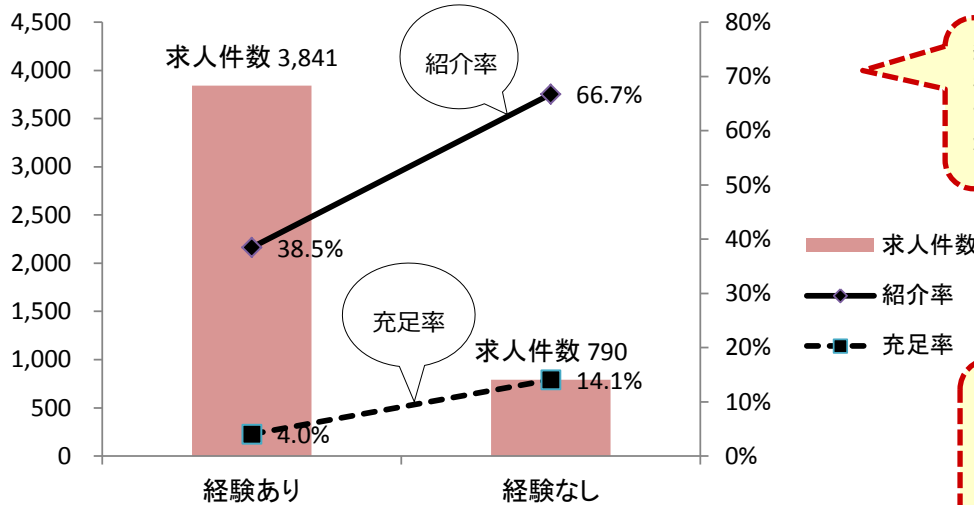


# 応募したくなる求人へ! 情報処理・通信技術者

事業所数に比べ、求人件数、求人数ともに非常に多い業種です。  
したがって紹介率は43.3%（全職種平均54.0%）と多少低め、  
充足率も5.7%（全職種平均20.1%）と低めです。

※紹介率は、募集全体に対し、紹介があった求人数を意味します。  
※充足率はそのうち採用があり充足した求人の割合を指します。

## ■ 応募条件に経験を必要とすると?

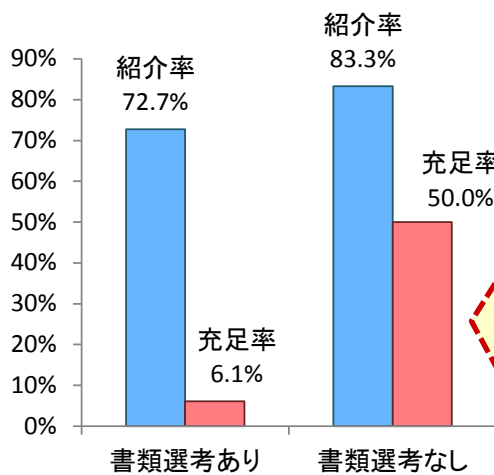


経験を必要とする求人の方が多くですが、応募は未経験者応募可とした方が増加します。  
また、採用も未経験者の方が決まりやすいという結果になっています。

60歳以上の採用率(就職数/紹介数)が大健闘です。  
全職種平均でみても、40代後半層は応募が多い年代になります。

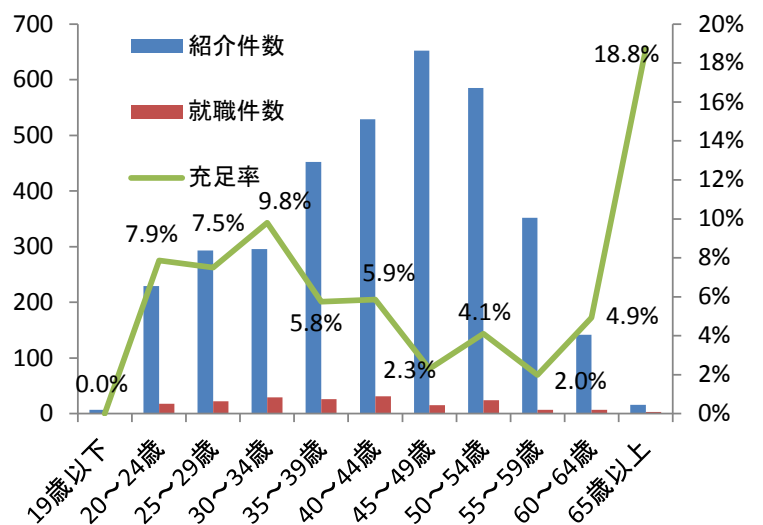
## ■ 書類選考の有無の影響は?

### 書類選考の有無による紹介率の違い



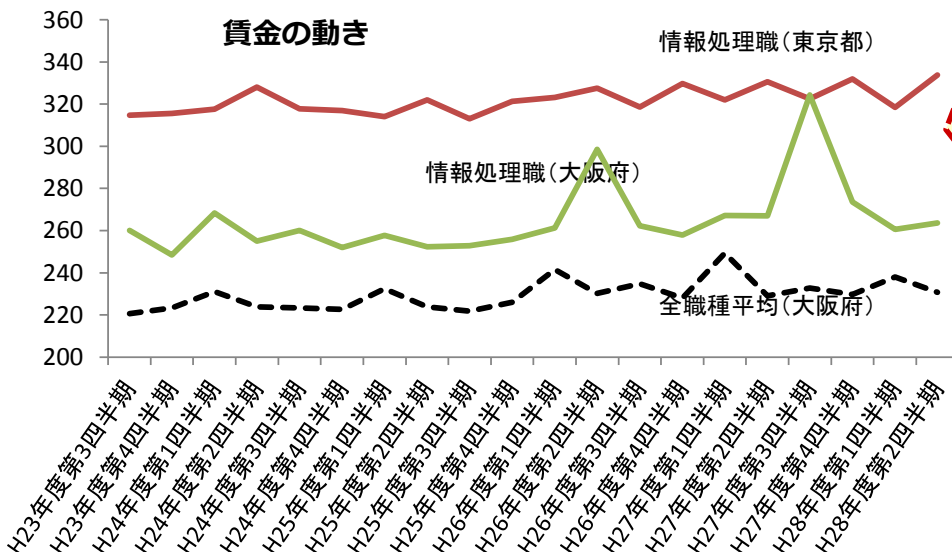
書類選考をせずに面接を行った方が紹介率、充足率（採用が決定した割合）ともに、書類選考を面接前に行うより高くなっています。  
書類選考しない求人数は、全体5%と少数派です。

## ■ 紹介数と採用数を年齢別に見てみると...



## ■ 中途採用時の賃金情報から見た情報処理業種の特徴

### 中途採用時の賃金情報より



左のグラフは「中途採用時の賃金情報」からデータを取っています。  
中途採用時の賃金情報とは、「雇用保険被保険者資格取得届」に記載された賃金日額を集計したものです。パート等週20時間以上就労する者や、関連企業内での転籍のケースも含まれます。

情報処理は、賃金が高いのが特徴です。

また、情報処理の業種の場合、採用者数の60～70%が東京での採用になります。大阪での採用者数は8%程度で推移しています。東京都と大阪府の間の賃金格差は他業種に比べ高くなっています。地域差としては、6～7万円程度大阪より東京の方が高くなっています。